

# 第3学年・社会科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 高尾 悠也

- 1 日 時 令和5年9月20日（水） 第5校時（13：45～14：30）
- 2 学年・組 第3学年2組（19名）
- 3 単元名 わたしたちのくらしとはたらく人々 ～工場で作られるもの～
- 4 単元の目標

地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	① 工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ② 工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、表現している。	① 地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

## 6 指導計画

	時	○学習活動 ◆主な発問・指示 ・児童の反応	指導のポイント	評価
つかむ	1	○京都市（校区を含む）の工場マップを使って、工場の分布について知る。また先生の好きなものをクイズをもとに生八ッ橋に興味を持ち、じっくり観察する。 ◆実物の生八ッ橋を見て気づくことを見付け、原材料が何かを知ろう。 ・きれいな三角形をしているな。 ・もちもちしているな。 ・あんこが入っているな。 ・皮が薄いな。 ・皮の上にきなこが乗っているな。 ・米粉を使っているのだな。 ・小豆はあんこになるのだな。	・調べる活動の時に視点をもてるように、1万個作られるための原材料の仕入れ先や仕入れ方法について問う。  ・副読本P35のイラストなどを提示し、京都市にはいろいろなものが生産されていることやその生産場所などについて問題意識を高める。 ・実物の生八ッ橋を観察し、見た目や触った感じから気付	知① 思②

	2	<p>○工場で作られている生八つ橋と同じように粘土で自分たちでも作り学習問題を立てる。</p> <p>◆工場では、1日に生八つ橋が何個作られているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20分間で、34個できたから、500個くらいかな。</li> <li>・人気あるんだから、1000個くらい作られているんじゃないかな。</li> </ul> <p><b>学習問題</b> 京都みやげで有名な「生八つ橋」はどのようにしてたくさん作られているのだろうか。</p>	<p>いたことを交流し、学習問題につなげるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアレルギーの確認をする。</li> </ul>	思①
	3	<p>○絵や文章で6コマ漫画をかき、生八つ橋の作られ方を予想する。</p> <p>◆たくさんのきれいな形の「生八つ橋」をどのようにして作っているのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手だと時間がかかるから、機械を使ってそうだな。</li> <li>・皮を包むのは機械でするのは難しいと思うから人がしていると思うよ。</li> <li>・工場で働く人は、安全のために帽子やマスクをしていると思うな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想では、どこで・誰が(何が)・どのようにしてつくられているかを、予想した理由とともに、絵や文で具体的に表現し、調べる視点が明確になるようにする。</li> </ul>	態①
調べる	4	<p>○生八つ橋工場の生八つ橋本館でどのように作られているのか予想する。</p> <p>◆6枚の写真を基に、どのような作業をしているのか調べよう。また、どのような順で行われているのか予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんこを詰めるのは機械でやっているね。</li> <li>・トレーには人の手で詰めている</li> <li>・C、E、A、D、B、Fだと思うな。</li> </ul> <p>【どのような方法で調べると、夕子の作り方を確かめられるだろう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学に行く。</li> <li>・工場の人に聞く。</li> </ul> <p>○工場見学へ行った時の質問リストを作る。</p> <p>◆工場見学で調べることリストを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何人の人が働いているのですか。</li> <li>・どこから仕入れているのですか。</li> <li>・一日に何キログラムの原材料を仕入れているのですか。</li> <li>・お客さんに安心してもらうために髪の毛をすべて入れているのですか？</li> <li>・いつから生八つ橋はあったのですか？</li> </ul>		思①
	5・6	<p>○工場見学に行き、「生八つ橋」の作り方を調べる。</p> <p>◆工場見学で、たくさんのきれいな形の生八つ橋がどのように作られているのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度にこねる生地量がとても多かったよ。そうすることでたくさんの生八つ橋を作ることができるんだね。</li> <li>・あんこは生地の上にのせて聞いてたけど、端に乗せると皮をかぶせると、ちょうど真ん中にあんこがきてきれいな形になるんだね。</li> <li>・人が確認をするまでに、機械でもセンサーを使ってゴミが入っていないか確認したり、エージレスが入っているかの確認をしたりしているんだね。安心安全のためだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような質問をすれば、学習問題を解決できるかという視点を児童が持てるようにする。</li> </ul>	態①
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の様子やインタビューを写真や映像で撮影し、情報を収集しておく。</li> <li>・見学メモに生産工程や気付いたことを書き込めるようにする。</li> <li>・撮ってきた写真を使い、「生八つ橋」の作られる順番に配置する。また、見つけた工夫</li> </ul>	知①

	7	<p>○工場見学に行って、わかったことをまとめる。生八ッ橋は、どのようなじゅんに番でつくられるのだろう。</p> <p>◆工場見学に行って、わかったことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械を使うことで、とても速くてたくさん作っていたね。</li> <li>・生地を作る、生地を伸ばす、生地を切る、あんこをのせる、皮で包む、トレーに詰める、防腐剤を入れる、袋をとじる、最後に確認をするという順番で、生八ッ橋が作られていたね。</li> </ul>	<p>を書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発言を主に『生産量』と『品質』に関わる内容に分類して板書し、機械や人の働きの必要性や役割、商品へのこだわりなどを考えられるようにする。</li> </ul>	<p>知①</p>
本時		<p>○工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。</p> <p>◆工場ではたらく人はどのような様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内に入る前にも後にも、ごみがついていないかを確認しているね。</li> <li>・工場で働く人は、服装に気をつけたり、工場の中に入る時に消毒したりして、安心安全に作られていたな。</li> </ul>		<p>知①</p>
まとめる	9	<p>○調べてまとめたことを基にして、学習問題について話し合う。</p> <p>◆京都みやげで有名な生八ッ橋をどのようにしてたくさんつくっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して商品を買ってもらえるように衛生面にとても気を付けてつくっている。たくさんつくるためには機械も必要だが、気温や湿度に合わせて工場の人が水の分量を変えたり、材料にこだわったりしながらおいしい生八ッ橋ができるようにしている。だから、人気があるのだな。</li> </ul>		<p>知②</p>
広げる	10 ・ 11	<p>○地域の人々の生活との関わりについて考える。</p> <p>◆生八ッ橋工場では、どうして季節限定の生八ッ橋をつくっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都に住んでいる人にも季節を感じてもらったり、よろこんでもらったりしたいのだね。</li> </ul> <p>○京都市にある様々な工場の種類や分布について調べる。</p> <p>◆京都市にはどこにどのような工場があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市には、『ごみ箱工場』『漬け物工場』『西陣織工房』など、ものづくりをしている様々な種類の工場や工房がいろいろなところにある。</li> <li>・いろいろなものがつくられて、それを私たちは使って生活しているのだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場で約 30 種類もの生八ッ橋がつけられているのを理解した上で、それに加えて季節や月限定の生八ッ橋をつくっていることを提示し、新たな問いへとつなげるようにする。</li> <li>・京都市の地図に、工場などの種類や場所を書き込み、京都市のいたるところに分布していることに気付かせるようにする。</li> </ul>	<p>思②</p> <p>知②</p>

本単元における教科目標の評価規準と記録に残す主な場面

記録に残す主な評価場面

- ・ 態① 「学習問題に対する働く人の様子や主な生産工程について具体的に予想した 6 コマ漫画や活動の様子」
- ・ 知② 「生産量や品質に着目した生産の順序や工程について記述したもの」
- ・ 思② 「生産の仕事と私たちの生活との関わりについて記述したノートや発言」

7 本時について（8 / 11 時間目）

(1) 目標

工場ではたらく人の様子を調べたり考えたりする活動を通して、工場ではたらく人は安心安全な生八つ橋を作ろうとしていることを理解する。

(2) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○資料を見て気づきを出す。</p> <p>◆資料を見て気づいたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番のような恰好をしている。</li> <li>・マスクをして、ぼうしをかぶっています。</li> <li>・商品に髪の毛などが入らないようにしていると思う。</li> </ul>	<p>◇どこを見ればよいかわからない児童には、○を見てみよう。など、見る視点を与える。</p> <p>*資料からわかる事実のみではなく、児童の考えを引き出すために、どんなことを考えた？どんなことを思った？といったことも聞く。</p>
<p><b>工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。</b></p>	
<p>○工場ではたらく人はどのような様子か調べる。</p> <p>◆工場ではたらく人はどのような様子か、写真や文章見て調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場では、かみの毛やつばが入らないように、白色のぼうしやマスク、手袋をして作業している。</li> <li>・工場に入るときには消毒をしている。</li> <li>・工場に入った後も、ねん着ローラーでごみをとっている。</li> <li>・1日の作業が終わると、毎日機械を分解して一つ一つ機械を洗っている。</li> <li>・機械をつかって生八つ橋を作っているけど、人の手も必要だと思った。</li> </ul> <p>○工場の人たちがやっていることや気を付けていることがある理由について話し合う。</p> <p>◆なぜ工場の人たちはこんなに気を付けて仕事をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けていると思った。</li> <li>・機械にもミスがあると困るから。</li> <li>・一つのごみがお客さんの信頼を落としてしまうから。</li> </ul>	<p>*はたらく人の様子とは、どんな服装か・どんな仕事をしているのか・どんなことを気を付けているのか、ということを目指す。</p> <p>*初めの3分は資料と一人で向き合うが、その後の6分間は一人学び、二人学び、三人学びまでであれば、学習の仕方を選んでよいことにする。</p> <p>㊦何をすればよいかわからない児童や、どの資料を見ればよいかわからない児童にはヒントカードを渡し、カードを見ながら学習を進めてもらう。</p> <p>*買う人に安心して食べてもらえるようにするためだというのをおさえる。</p>

○本時の学習問題に対するまとめを話し合う。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場ではたらく人は、マスクやエプロン、ぼうし、手ぶくろをつけ、かみの毛などが商品に入らないように作業している。</li> <li>・お客さんに安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けている。</li> </ul>	
○ふりかえりをかく。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全につくられた八つ橋を食べてみたいで</li> </ul>	
す。	

### (3) 評価

<b>【知・技】</b>	写真や文章、映像などの資料を比較したり、対応させたりして工場の人の様子についての情報を取り出すことができる。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」	
工場ではたらく人が、衛生的で、安全な商品づくりのためにしていることに気が付いている。	

### (4) 板書計画

わたしたちのくらしとはたらく人々 ～工場で作られるもの～

学習問題  
工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。

気づき

- ・給食当番みたい
- ・マスク・ぼうし
- ・髪の毛に気を付けている。

写真

調べる

写真

写真

・かみの毛やつばが入らないようにしている。

・消毒

・ねん着ローラーでゴミをとっている。

・毎日機械を分解して一つ一つ機械を洗っている。

なぜ工場の人たちはこんなに気を付けて仕事をしているのでしょうか。

- ・安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けていると思った。
- ・機械にもミスがあると困るから。
- ・一つのごみがお客さんの信頼を落としてしまうから。

まとめ

お客さんに安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けている。

### (5) ICT 活用

大型テレビに児童用の GIGA 端末の画面を共有しながら指導する。

### (6) 本時でつけたい情報活用能力

<b>活用スキル</b>	絵や写真、文章などの資料を比較したり対応させたりして情報を取り出す。	<b>活用場面</b>
--------------	------------------------------------	-------------

本単元では、地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して

て、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養うことを目標としている。単元の中では、仕事の種類、仕事の工程、工夫などを見つける活動が行われる。そこで、絵や写真、文章、映像などの資料を比較したり対応させたりして情報を取り出す、という活用スキルを使いこなすことが、深い学びにつながっていくと考えている。比較・分類をすることは、社会科の学習で大切な見方・考え方である。この単元だけでなく、この活用スキルを様々な学習場面で取り入れて指導を進めていこうと考えている。